

## <報道発表資料>

平成26年9月19日

### 県内市町村の平成25年度地方公営企業決算概要（速報） — 他会計への依存が低下傾向にあるもの より一層の経営改善が求められる —

県内市町村(政令指定都市であるさいたま市を含む。)の平成25年度地方公営企業の決算について、その概要をまとめましたので報告いたします。

#### 1 決算規模

4,184億9千8百万円（対前年度 ▲146億8千4百万円、▲3.4%）

63市町村227事業の決算規模は4,184億9千8百万円で、前年度に比べ146億8千4百万円減少（▲3.4%）しています。これは主に、企業債元利償還金の減少によるものとなっています。

事業ごとに増減はあるものの全体では減少傾向で、3年連続の減少となりました。

#### 2 全体の経営状況

231億5千8百万円の黒字（対前年度 +10億3千万円、+4.7%）

公営企業全体の総収支額は、231億5千8百万円で、前年度に比べ10億3千万円増加(+4.7%)しています。

また、黒字事業は212事業で全体の93.4%を占めており、割合は前年度に比べ0.9ポイント上昇しています。

一方で、人口減少に伴う料金収入の減少及び事業によりサービスの提供に必要な施設等の老朽化に伴う更新投資の増大が今後見込まれるため、一層の経営努力が求められます。

#### 3 料金収入

2,532億6千5百万円（対前年度 +27億4千4百万円、+1.1%）

料金収入は、2,532億6千5百万円で、前年度に比べ27億4千4百万円増加(+1.1%)しています。

事業別にみると、水道事業が最も多く、次いで下水道事業、病院事業となっています。

#### 4 企業債現在高

1兆1,577億7千3百万円（対前年度 ▲368億5千万円、▲3.1%）

平成25年度末における企業債現在高は1兆1,577億7千3百万円で、前年度に比べ368億5千万円減少（▲3.1%）しています。企業債現在高の減少は平成14年度から12年連続です。

これは企業債の発行が429億8千2百万円あったものの、償還が808億8千1百万円（うち公的資金補償金免除繰上償還11億3千2百万円）行われたことによるものです。

#### 5 他会計繰入金

776億4千3百万円（対前年度 ▲13億2千5百万円、▲1.7%）

他会計からの繰入金総額は776億4千3百万円で、前年度に比べ13億2千5百万円減少（▲1.7%）しています。

繰入金のうち、主に赤字補てんを目的とする基準外繰入金は339億5千3百万円で、前年度に比べ13億6千万円減少（▲3.9%）しています。基準外繰入金が最も大きい事業は下水道事業で、220億6千8百万円です。

#### 6 建設投資額

1,045億8千7百万円（対前年度 ▲23億8千1百万円、▲2.2%）

建設投資額は、主に下水道事業で減少したことにより1,045億8千7百万円となり、前年度に比べ23億8千1百万円減少（▲2.2%）しています。建設投資額の減少は2年連続です。

#### 7 累積欠損金

173億1千3百万円（対前年度 ▲7億4千万円、▲4.1%）

累積欠損金は、173億1千3百万円となっており、前年度に比べ7億4千万円減少（▲4.1%）しています。

事業別にみると、病院事業が最も多く、次いで水道事業、下水道事業となっています。

● 詳しい資料は、市町村課のホームページに掲載しています。

URL : <http://www.pref.saitama.lg.jp/site/koueitantou/h25nendokoueikessan.html>